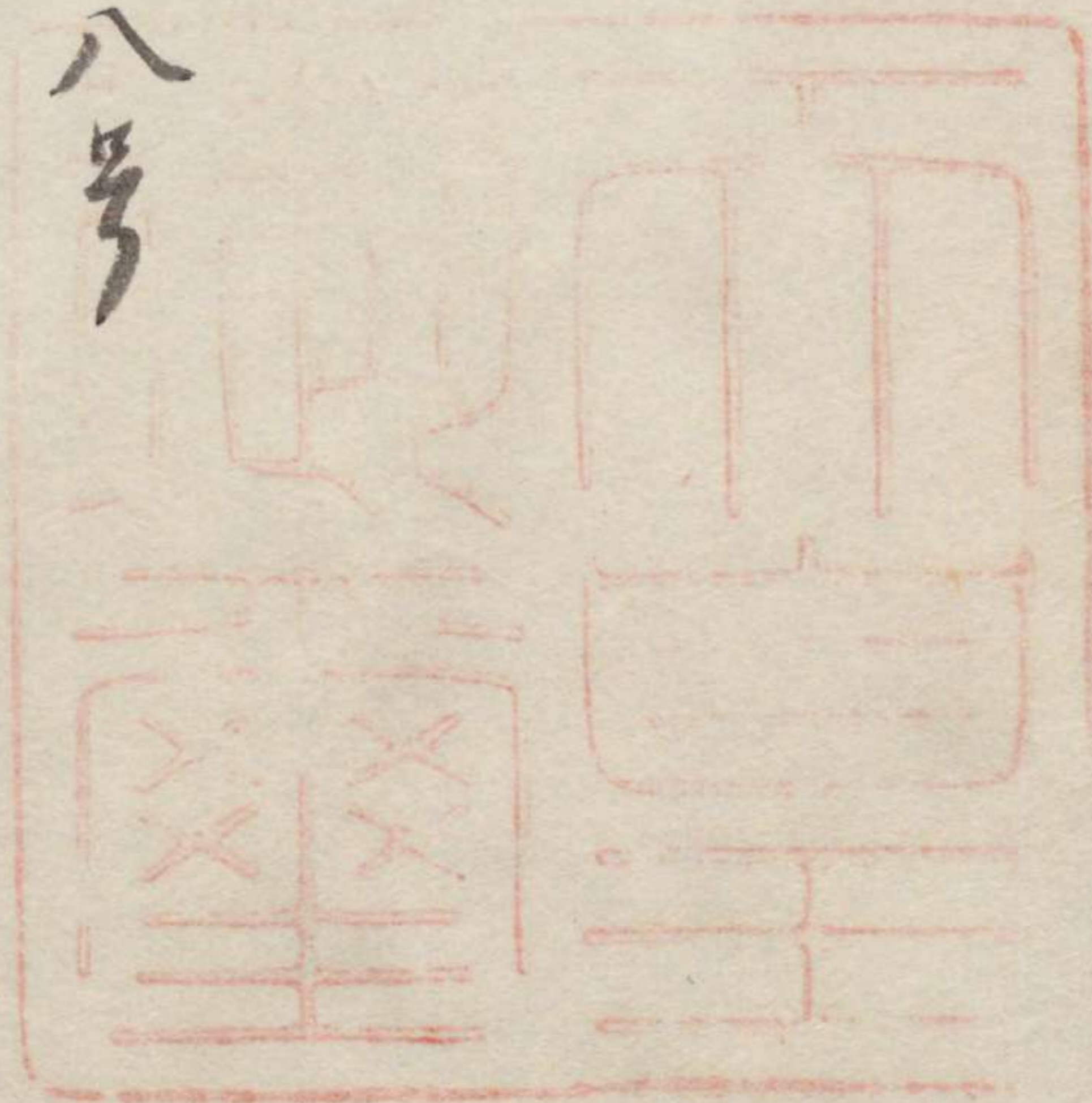
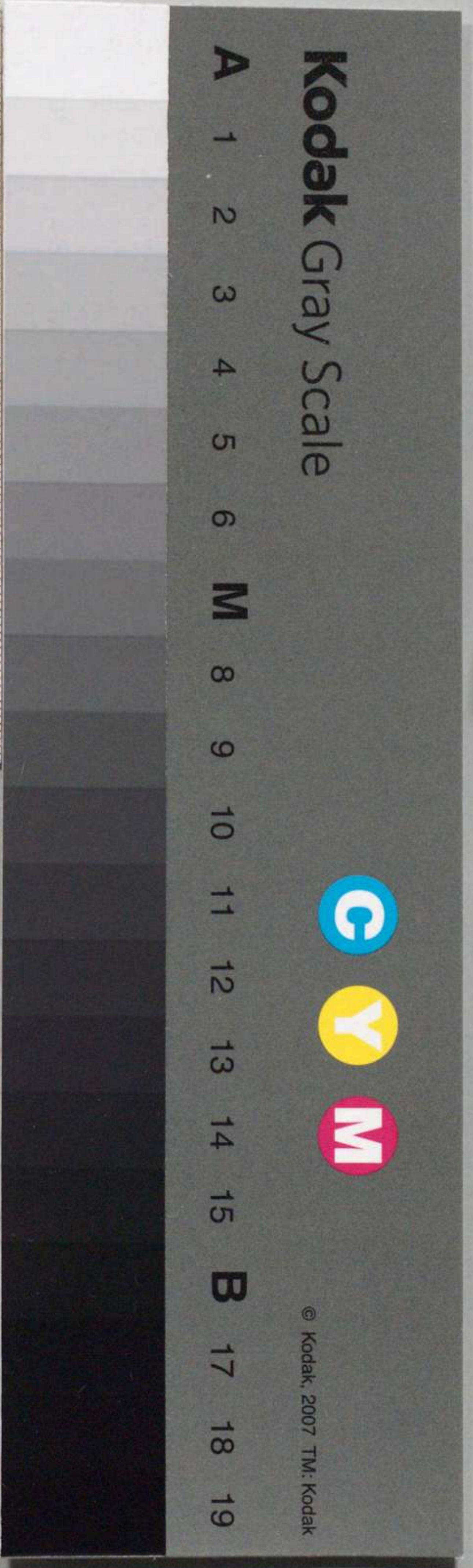


法律第四十八号



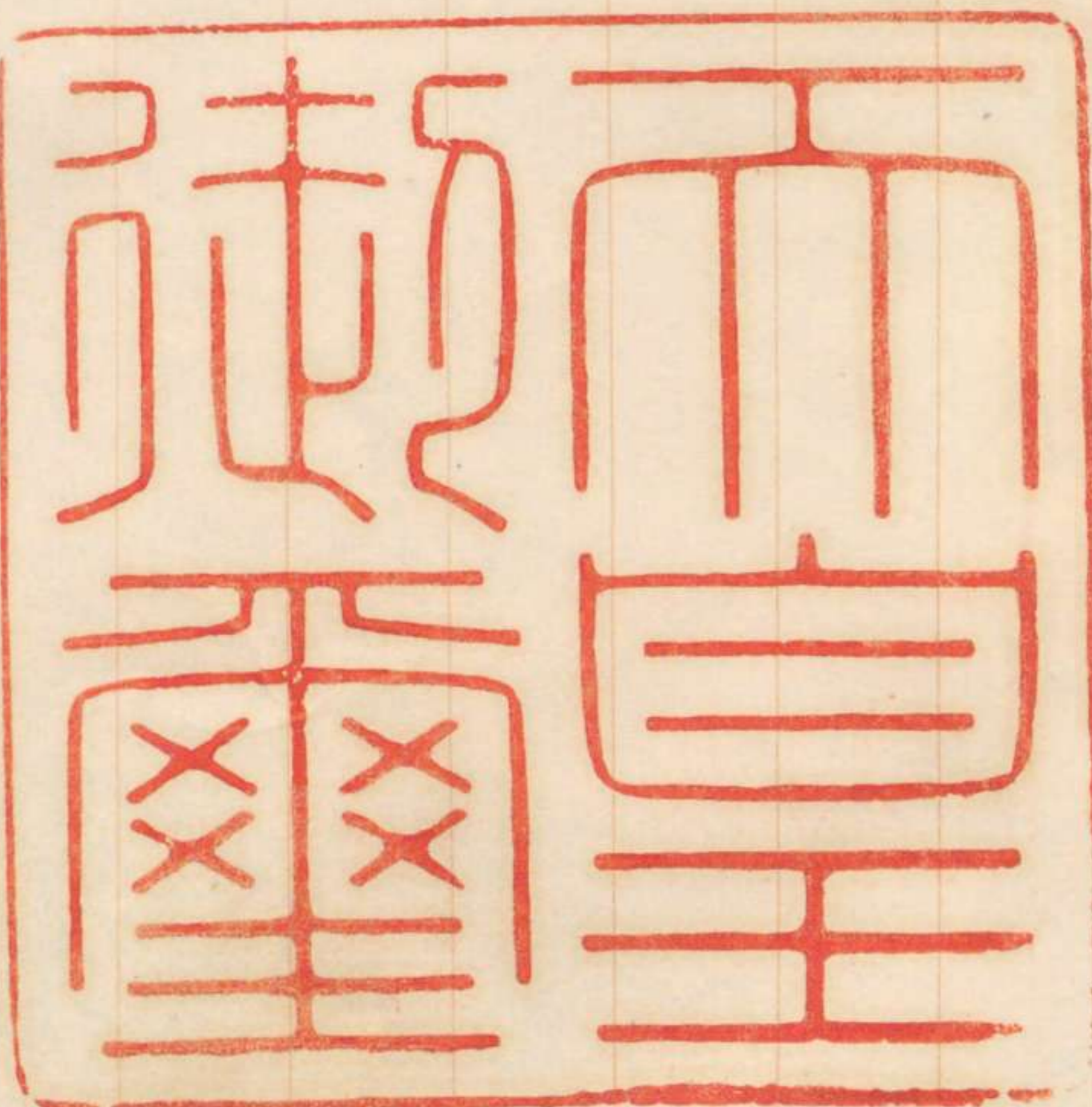
白文





朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル齒科醫師法  
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治三十九年五月一日

内閣



内閣總理大臣侯爵西園寺公望  
内務大臣 系 赤  
文部大臣 牧野伸顯

法律第四十八號

齒科醫師法

第一條

齒科醫師タラムトスル者ハ左ノ資格ヲ有シ内務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 文部大臣ノ指定シタル齒科醫學校ヲ卒業シタル者
- 二 齒科醫師試験ニ合格シタル者
- 三 外國齒科醫學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ齒科醫師免許ヲ得タル



者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者

第二條 左ニ掲クル者ハ免許ヲ受クル

コトヲ得ス

一 重罪ノ刑ニ處セラレタル者但シ  
國事犯ニシテ復權シタルトキハ  
此ノ限ニ在ラス

二 公權停止中ノ者

三 未成年者、禁治産者、準禁治産者、聾  
者、啞者及盲者

第三條 禁錮ニ處者又ハ醫

事ニ關シ罰金ニ入ル者ニハ

免許ヲ與ヘサルコトハ

第四條 内務省ニ齒科醫籍ヲ備ヘ齒科

醫師免許ニ關スル事項ヲ登

登録スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定

ム

第五條 齒科醫師ハ自ラ診察セスシテ

診斷書、処方箋ヲ交付シ又ハ治療ヲ爲

スコトヲ得ス





者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者

第二條 左ニ掲クル者ハ免許ヲ受クル

コトヲ得ス

一 重罪ノ刑ニ處テラレタル者但シ

國事犯ニシテ復權シタルトキハ

此ノ限ニ在ラス

二 公權停止

三 未成年者、準禁治産者、聾

者、啞者



第三條 禁錮ニ處セラレタル者又ハ醫

事ニ關シ罰金ニ處セラレタル者ニハ

免許ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第四條 内務省ニ齒科醫籍ヲ備ヘ齒科

醫師免許ニ關スル事項ヲ登録ス

登録スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定

ム

第五條 齒科醫師ハ自ラ診察セスシテ

診斷書、処方箋ヲ交付シ又ハ治療ヲ爲

スコトヲ得ス



第六條 齒科醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ  
氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載  
スヘシ

前項ノ帳簿ハ十箇年間之ヲ保存スヘ  
シ

第七條 齒科醫師ハ其ノ技能ヲ誇稱シ  
テ虚偽ノ廣告ヲ爲シ又ハ秘密療法ヲ  
有スル旨ヲ廣告スルコトヲ得ス

第八條 齒科醫師ハ齒科醫師會ヲ設立  
スルコトヲ得

齒科醫師會ニ關スル規程ハ内務大臣  
之ヲ定ム

第九條 齒科醫師會ハ齒科醫事衛生ニ  
關シ官廳ノ諮問ニ應シ又ハ建議ヲ爲  
スコトヲ得

第十條 齒科醫師第二條第一號又ハ第  
三號ニ該當スルトキハ其ノ免許ヲ取  
消スヘシ

齒科醫師禁錮ニ處セラレタルトキ又  
ハ業務ニ關シ罰金ニ處セラレ若ハ不



正ノ行爲アリタルトキハ免許ヲ取消  
シ又ハ期間ヲ定メテ齒科醫業ヲ停止  
スルコトアルヘシ其ノ事免許前ニ係  
ル場合亦同シ

本條ノ取消處分ヲ受ケタル者ト雖第  
二條第三號ノ原因止ミタルトキ又ハ  
改悛ノ情顯著ナルトキハ再免許ヲ與  
フルコトアルヘシ

本條ノ處分ハ内務大臣之ヲ行フ但シ  
第二項及第三項後段ノ場合ニ於テハ

中央衛生會ノ審議ヲ經ルコトヲ要ス

第十一條 免許ヲ受ケスシテ齒科醫業  
ヲ爲シタル者停止中齒科醫業ヲ爲シ  
タル者又ハ第五條第六條若ハ第七條  
ニ違背シタル者ハ三百圓以下ノ罰金  
ニ處ス

附則

第十二條 本法ハ明治三十九年十月一  
日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 本法施行前ノ齒科醫術開業



免狀ハ本法施行ノ後ト雖仍其ノ效力  
ヲ有ス

内

陸